

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

ダクト用換気扇（24 時間換気機能付タイプ）

グリル形式	形 名
十字格子タイプ	VD-10ZFCLC <sub>9</sub> （二部屋用）
	VD-15ZFCLC <sub>9</sub> -S（二部屋用） VD-15ZFFLC <sub>9</sub> （三部屋用）
	VD-18ZFFLC <sub>9</sub> （四部屋用）
インテリア格子タイプ	VD-18ZFCLC <sub>9</sub> -CS（二・三部屋用）

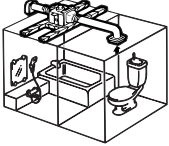
取扱説明書

お客さま用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客さま自身では据付けないでください。  
(安全や機能の確保ができません)

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。  
なお、ご使用前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同梱の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」とともに保管してください。



1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告

禁止

水ぬれ禁止

分解禁止

指示に従う

アース確認

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない  
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。
- ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない  
爆発・引火の原因。
- 製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない  
ショートや感電の原因。
- 改造や工具を必要とする分解はしない  
火災・感電・けがの原因。  
分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電やけがの原因。
- 交流 100V を使用する  
火災や感電の原因。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する  
そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。  
〈異常・故障例〉
  - スイッチを入れても羽根が回転しない。
  - 回転中に異常音や振動がする。
  - 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です。）
  - こげ臭いにおいがする。
  - 本体据付部に腐食・破壊などがある。など※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。
- 湿気が多い場所で使用する場合は、アースが取付けられているか確認する  
故障や漏電のときに感電の原因。  
アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください

⚠ 注意

禁止

接触禁止

指示に従う

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない  
本体・部品の落下によりけがの原因。
- 直接炎のたつたおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない  
火災の原因。
- 運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない  
けがの原因。
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する  
感電の原因。
- お手入れの後の部品の据付けは確実に  
落下によりけがの原因。
- お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないときけがの原因。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る  
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

2. 特 長

24 時間換気機能付ダクト用換気扇は換気風量（強・弱）の切り替えが可能であり、「弱」運転で 24 時間換気を行うことにより、給気口から新鮮空気を取り入れ室内空気環境の悪化を改善します。

＜24 時間換気方式について＞

建材や家具から発生するホルムアルデヒドなどの化学物質、居室の中に発生する汚染物質や臭気を排出するために、居室からサニタリーへ空気の流通経路を確保し、必要換気風量で 24 時間換気します。ただし、24 時間換気を有効に行うには居室に専用給気口やドアのアンダーカットなどの設置による空気の流通経路の確保が必要です。

＜24 時間換気方式の効果＞

- ①建材や家具から発生されシックハウス症候群で問題となっているホルムアルデヒドなどの化学物質が滞留することなく、給気口から新鮮空気を取り入れます。
- ②居室の中に発生する炭酸ガスなどの汚染物質や臭気を排出し、新鮮な空気を補給して空気のよみを解消します。
- ③住宅内の湿気を排出し、結露を防止してカビ・ダニの発生を抑制します。

3. 各部のなまえ

ご使用にあたってのお願い

- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。  
(グリル・羽根の破損、変質の原因になります)
- 高温 (40℃以上) になるとところに据付けられていないか確認してください。  
(製品の変形やモーター焼損の原因になります)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください (中性洗剤をご使用ください)。  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など  
(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因)
- 浴室と他の部屋で使用する場合は本体が必ず浴室に据付けられているか確認してください。  
(本体から水滴が落ちることがあります)

4. 使用方法

運転は壁のコントロールスイッチで運転開始と停止を行います。

- コントロールスイッチで風量を「強」・「弱」に切り替えられます。「弱」で 24 時間運転をすることをおすすめします。
- スイッチにより、ランプが点灯して運転中がわかるものもあります。
- ランプ付コントロールスイッチを使用される場合、「強」・「弱」切り替えでランプの明るさが異なりますが異常ではありません。

✕モ

- 冬場や湯気の量が多いときなどに、グリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- 入浴時以外は浴槽のフタをしてください。(浴室・換気扇のいたみを少なくします)
- 給気口があるか確認してください。(効果的な換気を行うために必要です)
- この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを付けています。風圧式シャッターは急激なドアの開閉や外風の強い時などにはシャッター閉じ音が聞こえる場合があります。
- この製品は、本体が運転していない状態では副吸込側からの換気はしません。

「強」運転の上手な使いかた

- 浴室・洗面所の水蒸気などを急速に排出したいときは「強」運転に切り替えます。
- 入浴後、湯を落すとか、浴槽にフタをして 3 時間以上換気扇を「強」運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。
- トイレで臭いを急速に排出したいときなど「強」運転に切り替えます。

本体側と副吸込側の風量調節のしかた

本体側の場合 … (VD-15ZFCLC<sub>9</sub>-S・VD-15ZFFLC<sub>9</sub>・VD-18ZFCLC<sub>9</sub>-CS)

- 本体グリルの風量調節板を移動させることにより本体と副吸込側の風量割合を変更することができます。

※ VD-10ZFCLC<sub>9</sub> は、工場出荷時本体と副吸込風量割合は約 2 : 1 で固定されており、変更できません。

※ VD-18ZFFLC<sub>9</sub> は、工場出荷時本体と 3 か所の副吸込風量割合は約 3 : 2 : 1 : 1 となっており、本体側の風量割合は変更できません。

- 風量調節板の固定用テープは剥がさずに使用してください。

穴位置	本体風量：副吸込風量 VD-15ZFCLC <sub>9</sub> -S	本体風量：副吸込風量 VD-15ZFFLC <sub>9</sub>	本体風量割合 VD-18ZFCLC <sub>9</sub> -CS の場合
①	約 1.5 : 1 (工場出荷時)	約 1.5 : 1 : 1 (工場出荷時)	約 45% (工場出荷時)
②	約 2 : 1	約 2 : 1 : 1	約 50%
③	約 2.5 : 1	約 2.5 : 1 : 1	約 55%
④	約 3 : 1	約 3 : 1 : 1	—

- 風量調節板を取りはずしてしまいますと、副吸込側から吸い込まなくなりしますので取りはずさないでください。

副吸込側の場合

… (VD-18ZFCLC<sub>9</sub>-CS)

- 工場出荷時本体と 2 か所の副吸込風量割合は約 1.5 : 1 : 1 となっています。
- 風量調節ツマミの目盛を目安に副吸込風量を調節することができます。  
(工場出荷時は開口率 100%)

副吸込側の場合 … (VD-18ZFFLC<sub>9</sub>)

- 風量調節板を使用すると、使用しない場合に比べ副吸込風量を約 75%・50%・30% に調節することができます。

穴位置	副吸込風量割合
Ⓐ	約 75%
Ⓑ	約 50%
Ⓒ	約 30%

5. グリルの調整 (VD-18ZFCLC<sub>9</sub>-CS)

VD-18ZFCLC<sub>9</sub>-CS はグリルの据付け方向を 90° 変更することができます。  
グリルについているパネの位置を 90° 変更してください。

グリルの方向を変更する場合 …天井材に合わせてグリルの方向が変わります。

- (1) マイナスドライバーの先端でパネ固定ビースを矢印①の方向に押しグリルより抜き取りパネははずします。
- (2) パネの位置を 90° 変更して据付け、パネをパネ固定ビースで固定します。

1

6. お手入れのしかた

グリルや羽根にほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約3か月に1度を目安としてグリルの清掃をしてください。

**警告**

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電やけがの原因。

**注意**

お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないとけがの原因。

**お願い**

- ケーシングや羽根は、はすさないでください。(振動や騒音の原因)
- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。

1

**グリルをはすす**

**本体側の場合**

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって本体内部の長穴からはすします。
- パネは片側ずつ取りはすすとスムーズにはすれます。
- 風量調節板の穴位置を確認してください。

**副吸込側の場合**

(VD-10ZFLC9, 15ZFLC9-S, VD-15ZFFLC9 (2か所), 18ZFFLC9 (3か所))

- 副吸込グリルの両側の手掛け部を持って片側の手掛け部を下へ引きグリル取付枠からはすします。
- 風量調節板の穴位置を確認してください。(本体据付け時に風量調節板を据付けていない場合があります) (VD-18ZFFLC9のみ)

**メモ**

- 副吸込グリルがはずれない場合は、イラストの「A」の格子部を押し上げながら、手掛け部を下へ引くとはずしやすくなります。

2

**汚れを取る**

- グリルや本体内部表面の汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- 羽根の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

3

**グリルを据付ける**

**本体側の場合**

- パネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- パネは本体側へ片側ずつ差し込んだ方がスムーズに据付けられます。
- 風量調節板をはずす場合は必ず元通りに据付けてください。

**副吸込側の場合**

- 風量調節板を元通り据付けてください。(VD-18ZFFLC9のみ)
- 風量調節ツマミを元の位置にしてください。(VD-18ZFLC9-CSのみ)
- 副吸込グリルの手掛け部をグリル取付枠の切欠部に合わせて上に押し上げます。

2

**お願い**

- 羽根を下に引っ張らないでください。(ケーシングに羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

3

**お願い**

- コントロールスイッチを入れても羽根が回転しない。(ブレーカーが切れていたり停電ではありませんか?)
- 換気量が不足する。(屋外フードにほこりが堆積していませんか?)
- 運転中に異常音や振動がする。(グリルや本体が確実に据付けられていますか?)
- グリルがはずれかけている。(傾いている)

3

**お願い**

- 副吸込グリルがはずれない場合は、イラストの「A」の格子部を押し上げながら、手掛け部を下へ引くとはずしやすくなります。

2

**お願い**

- 羽根を下に引っ張らないでください。(ケーシングに羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

1

**グリルをはすす**

**本体側の場合**

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって本体内部の長穴からはすします。
- パネは片側ずつ取りはすすとスムーズにはすれます。
- 風量調節板の穴位置を確認してください。

**副吸込側の場合**

(VD-10ZFLC9, 15ZFLC9-S, VD-15ZFFLC9 (2か所), 18ZFFLC9 (3か所))

- 副吸込グリルの両側の手掛け部を持って片側の手掛け部を下へ引きグリル取付枠からはすします。
- 風量調節板の穴位置を確認してください。(本体据付け時に風量調節板を据付けていない場合があります) (VD-18ZFFLC9のみ)

**メモ**

- 副吸込グリルがはずれない場合は、イラストの「A」の格子部を押し上げながら、手掛け部を下へ引くとはずしやすくなります。

7. 修理を依頼する前に

このような症状があれば点検してください。

- コントロールスイッチを入れても羽根が回転しない。(ブレーカーが切れていたり停電ではありませんか?)
- 換気量が不足する。(屋外フードにほこりが堆積していませんか?)
- 運転中に異常音や振動がする。(グリルや本体が確実に据付けられていますか?)
- グリルがはずれかけている。(傾いている)

電源を切っても直らないときは

電源を切っても直らないときは

費用については販売店と相談してください。

※据付場所によってはダクト配管が長くなったり、曲がり部分が多くなる場合があります。この場合、換気扇への負担が大きくなり、回転数が上がって風切り音が大きくなりますが異常ではありません。

8. アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(別紙)にご相談ください。

※別紙チラシが不明な方は下記窓口にてお問い合わせください。

**■ご相談窓口**

平日9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・当社休日以外)

三菱電機換気送風機技術相談センター……電話0120-726-471 (無料)

上記以外の時間帯

三菱電機お客様相談センター……電話0120-139-365 (無料)

長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

**■補修用性能部品の保有期間**

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

9. 仕様

形 名	ノッチ	消費電力 (W)		開放風量 (m³/h)		有効換気量 (m³/h)				騒 音 (dB)		質量 (kg)
						パイプ長さ 20m時		パイプ長さ 30m時				
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-10ZFLC9	強	13	15.5	120	125	94	96	86	88	27.5	28	2.1
	24時間換気(弱)	5.5	5.5	70	65	53	53	49	49	19	19	
VD-15ZFLC9-S	強	20	23	210	210	136	145	117	128	34.5	34.5	3.1
	24時間換気(弱)	9.5	11	125	125	95	93	86	85	23.5	23.5	
VD-15ZFFLC9	強	20	23	210	210	136	145	117	128	34.5	34.5	3.3
	24時間換気(弱)	9.5	11	125	125	95	93	86	85	24	24	
VD-18ZFLC9-CS	強	30.5	35.5	265	260	180	182	156	161	37.5	37	4.4
	24時間換気(弱)	14.5	16	170	165	127	121	115	110	26.5	26	
VD-18ZFFLC9	強	39	44	280	270	177	188	154	167	39.5	38.5	4.7
	24時間換気(弱)	17	20	170	170	126	126	115	115	28	28	

※特性は JIS C 9603 に基づく値です。

※騒音値は無音室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれよりも高くなります。

※加圧を配管相当長としてみなし、ダクトや屋外フードの圧力損失を考慮して 20m、30m 時の換気量を「有効換気量」と称しています。〈戸建住宅は 20m、集合住宅は 30m を想定〉

※消費電力、騒音値は開放風量のものです。

**長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について**

【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります

【設計上の標準使用期間】 15年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電 圧	単相 100V	
周 波 数	50Hz および 60Hz		
温 度	20℃		
湿 度	65%		JIS C 9603 から引用
設置条件	標準設置		据付説明書による
負荷条件	定格負荷		取扱説明書の「9.仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 <sup>a)</sup> 台 所 2410時間/年 居 室 2193時間/年 トイレ 2614時間/年 浴 室 1671時間/年	

注<sup>a)</sup> 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(上表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて上記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

**愛情点検**

ご使用の際  
このようなことは  
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

**使用中止**

故障や事故防止のため、電源を切った後必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

**お客様メモ**

サービス依頼するとき便利です。

お買上げ店名(住所)(電話番号)

お買上げ年月日 年 月 日

この製品には地球環境保護の一環としてリサイクル材が使用されています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。